

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36206	ファッション造形 Fashion and Design	杉浦菜穂子			2	選択	1、2後期

科目の概要

洋裁の総合的な知識と被服の製作技術を修得し、さらに創造力と美的感性の開発を目指し学修する。服飾造形の基礎知識から、基本的なアイテムの製作を通して、服飾造形全般の知識と応用を修得する。授業では、普遍的な人体の特徴と採寸方法、衣服の関係を学修し、パターンメイキングする。アイテムに適した素材を学び、布に適した地直し・裁断・接着芯の使用方法について学修する。ICTを活用した教材GFP (Gakusen Fashion Prime) を使用し、細かな技術を体得する。基礎縫いなど基本となるアイテムを自身が計画した製作計画表に沿って製作し、授業での気づきを記録する。製作の過程から構造、技術などの専門的知識を体得し、将来の仕事や衣生活に活かせるスキルを身に付ける。被服製作を通して物を大切にする心、本学創立者である寺部だい先生の教え建学の精神を実践する。これはディプロマポリシーの①②③⑤に相当する。これらを身に付けるために行う。

学修内容	到達目標
① 人体の特徴と採寸方法、衣服の関係を学修し、パターンメイキングできるようになることを目的とする。 ② アイテムに適した素材を学び、選択する。布に適した地直し・裁断・接着芯の使用ができるようになることを目的とする。 ③ 洋裁の総合的な知識を学び、基本アイテムの製作ができるようになることを目的とする。 ④ 自身が計画した制作計画表に沿って作品制作し、授業での気づきを記録する。	① 人体の構造的特徴と採寸方法、衣服の関係を理解し、基本アイテムのパターンを作図することができる。これはディプロマポリシーの②③に相当する。 ② アイテムに適した素材を選択し、地直し・裁断することができる。これはディプロマポリシーの①②③に相当する。 ③ 用具・布地の適切な扱い方がわかり、正しく縫うことができる。これはディプロマポリシーの①②③に相当する。 ④ 製作計画表に沿って製作し、計画力を養うことができる。これはディプロマポリシーの④に相当する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

前に踏み出す力	主体性	授業時間外で主体的に制作を進め、より良い多くの作品を製作することができる。
	働きかけ力	
	実行力	本科目の到達目標、評価方法、到達目標の基準を確認し、自身の製作目標を設定する。設定した目標を意識し、達成できる。
考え抜く力	課題発見力	人体的構造や生地の特徴を考えてデザインし、そのデザインを作品にするために必要な裁断、縫製技術を活用できる。
	計画力	
	創造力	授業で修得した知識・技術を活用し、デザインや縫製の中に独自のアイデアが見られる。
チームで働く力	発信力	教員から技術指導を受ける際、製作状況、自己の考え、疑問点をわかりやすく説明できる。課題発表会では聴講者に要点が伝わるよう工夫できる。
	傾聴力	自ら積極的に聞く姿勢がみられる。重要な点はメモをとり、疑問点や不明点は質問して、指導内容を正しく理解することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：プリント配布
 参考文献：なし
 材料費：作品製作費用として生地代、その他材料代 約3,000～4,000円

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：やさしいソーイング, アパレルパターンメイキング
 資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
・毎回の授業予定に到達できなかった場合は、必ず次回授業までに到達しておきましょう。 ・早く作るよりも、やり直してでも丁寧に仕上げましょう。	・実習授業であるため、遅刻、欠席はしないこと。時間、ルール、提出物期限を厳守すること。授業開始時には必要道具を揃え、受講できる姿勢ができています。携帯電話の電源は切り、鞆に入れておくこと。 ・総合ゼミナールの履修を予定している学生は、1年次に履修することが望ましい。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①					
				②					
				③					
				④					
	平常評価	小テスト	0	①					
				②					
				③					
				④					
		レポート	0	①					
				②					
				③					
				④					
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓				・課題作品①「ワンピース」 作品が正確かつ丁寧に制作できていて、美しく仕上がっているか評価する。 ・課題作品が獲得した専門的知識・情報等の資源を活用して製作されているか評価する。身体の骨格、パターン配列、ミシンの細かい縫い方の技術を活かしてワンピースを製作しているかを評価する。 ・pisa型学力を活用し、ワンピースに創意工夫がみられるか評価する。
				②	✓				
				③	✓				
				④	✓				
社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓				主体性：自ら知識を深める姿勢・行動を取ることができる。 実行力：期日までに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進める、やりきることができる。 課題発見力：知識を活用して論理的に考えることができる。 創造力：既存の知識を元に試行錯誤し、独自の考えを作ることができる。 発信力：相手がわかりやすく、正確に理解できるよう、工夫して伝えることができる。 傾聴力：話を聞く姿勢が見られ、内容を正しく理解できるよう行動することができる。 規律性：遅刻、無断欠席など学習意欲を欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
		②	✓						
		③	✓						
		④	✓						
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
到達レベルSの基準 ・Aの基準に加えて、積極的な受講態度が見られる。 ・作品はデザイン性、独創性に優れ特に完成度の高い作品として仕上がっている。 到達レベルAの基準 ・制作課題に対して懸命に取り組んでいる。 ・作品が正確かつ丁寧に制作できており、仕上がりがきれい。	到達レベルBの基準 ・制作課題を完成できている。 ・教員の指示通りの制作を行い、創意工夫したところはみられない。 到達レベルCの基準 ・提出物の不備、課題に対して意欲的な姿勢がみられない。 ・作品の仕上がりに粗雑なところがみられる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	ガイダンス ・製作の必要性とその意義、教室の使用法、ルールについて学修する。 ・製作に必要な用具の名称、扱い方について学修する。 ・ワンピースの形態による名称と素材について学修する。 ・ワンピースの機能性について学修する。 ・身体骨格構造について学修する。 ・採寸の仕方について学修する。 ・自分の寸法で原型を作成する。 ・製作工程について学修する。 ・布の見積り方について学修する。	講義 パターンチェックをし、フィードバックを行う。 原型のパターンを作成する。 必ずパターンチェックを受ける。製作の概要と授業のながれを解説する。	・授業の目的と意義を理解し、実習に必要な用品を準備できる。 ・教室のルール、洋裁道具の名称、扱い方がわかる。 ・製作工程を計画することができる。 ・ワンピースの名称、素材、機能性について理解できる。 ・自身の身体を採寸し、身体の特徴を理解できる。 ・自分の寸法で原型を作成することができる。	(予習) 実習に必要な用具の注文、材料の準備をする。 (復習) 用具の名称、扱い方の理解を覚える。用布を見積もる。	90	傾聴力 規律性
2	・ワンピースの身頃、スカートのパターンについて学修する。 ・様々な衿ぐりの名称について学修する。 ・ワンピース身頃、スカートのパターンメイキングについて学修する。	講義・実習 パターンチェックをし、フィードバックを行う。 ワンピース身頃、スカートのパターンを作成する。 必ずパターンチェックを受ける。	・ワンピース身頃、スカートのパターンメイキングができる。 ・様々な衿ぐりの名称について理解できる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。ワンピースの構造を調べる。 (復習) 計画表の記入。製図記号を覚える。	90	主体性 実行力 創造力
3	・様々な袖の名称について学修する。 ・ワンピース袖のパターンメイキングについて学修する。 ・地直しについて学修する。	講義・実習 様々な袖の名称について解説する。 ワンピース袖のパターンメイキングを行う。 ワンピース袖のパターンを提出し、フィードバックを行う。 地直しの方法について解説をする。	講義・実習 様々な袖の名称について解説する。 ワンピース袖のパターンメイキングを行う。 ワンピース袖のパターンを提出し、フィードバックを行う。 地直しについて理解できる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。製作したい袖の形について調べてくる。 (復習) 計画表の記入。様々な袖の名称を覚える。	90	主体性 実行力 創造力
4	・ミシンの使用方法を学修する。 ・ミシンの糸のかけ方を学修する。 ・下糸の巻き方を学修する。 パソコンを使用し、クラスルームGFPを参照する。繰り返し動画を視聴しミシンの使用方法を確認する。	講義・実習・ICT活用 クラスルームGFPを活用し、ミシンの使用方法を解説する。 試し縫いを提出し、フィードバックを行う。	・ミシンに糸をかけることができる。 ・ミシンを使用し、縫うことができる。 ・下糸を巻くことができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。クラスルームGFPにおいてミシンの糸のかけ方を確認する。 (復習) 計画表の記入。ミシンの糸のかけ方を覚える。	90	主体性 実行力 創造力
5	・パターンのカットの仕方を学修する。 ・柄合わせについて学修する。 ・パターンの配列・裁断について学修する。 ・ピン打ち、印付けについて学修する。	講義・実習 提出した計画表に記述で返答し、フィードバックを行う。 配列のチェックを受けてから裁断。 印付け後ピンを外す前にチェックを受ける。	・パターンがカットできる。 ・生地を裁断することができる。 ・印付けができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。地直しをしてくる。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 創造力
6	・ロックミシンの使用方法を学修する。 ・ロックミシンの糸の替え方と掛け方を学修する。 ・ワンピース身頃、スカート、袖のロックミシンのかけ方を学修する。 パソコンを使用し、クラスルームGFPを参照する。繰り返し動画を視聴しロックミシンの使用方法を確認する。	講義・実習・ICT活用 クラスルームGFPを活用し、ロックミシンの使用方法を解説する。 作品を提出し、フィードバックを行う。	・ロックミシンの糸を替えることができる。 ・ロックミシンに糸を掛けることができる。 ・ロックミシンを使用することができる。 ・ワンピース身頃、スカート、袖にロックミシンをかけることができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。クラスルームGFPにおいてロックミシンの使用方法を確認する。 (復習) 計画表の記入。ロックミシンの使用方法を覚える。	90	主体性 実行力 創造力
7	・ダーツの縫い方、始末の仕方について学修する。 ・身頃の肩、脇の縫い方について学修する。	講義・実習 提出した計画表に記述で返答し、フィードバックを行う。 ワンピースの身頃の縫製を行う。	・ダーツの縫い方について理解し、縫うことができる。 ・身頃の肩、脇の縫い方について理解し、縫うことができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。地直しをしてくる。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 創造力
8	・上身頃とスカートの縫い合わせ方法を学修する。 ・ギャザーの寄せ方を学修する。	講義・実習 提出した計画表に記述で返答し、フィードバックを行う。 上身頃とスカートの縫い合わせを行う。	・上身頃とスカートを縫い合わせることができる。 ・ギャザーの寄せ方を理解し、ミシンを使用してギャザーを寄せることができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	・接着芯について学修する。 ・工業用アイロンのかけ方を学修する。 ・コンシールファスナーの付け方を学修する。 ・アイテープの貼り方を学修する。	講義・実習 提出した計画表に記述で返答し、フィードバックを行う。工業用アイロンの使用方法を理解し、正しくアイロンをかける。後ろ中心にアイテープを貼る。コンシールファスナーを付ける。ファスナーのチェックを受ける。	・後ろ中心にアイテープが貼ってある。 ・アイロンを正確にかけることができる。 ・コンシールファスナーを正しく付けることができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。地直しをしてくる。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 創造力
10	・見返しの製作方法を学修する。(衿ぐり) ・裾の始末の仕方について学修する。	講義・実習・ICT活用 衿ぐりの見返しを製作する。裾の始末の仕方について学修する。	・衿ぐりの見返しを製作することができる。 ・裾の始末をすることができる。 ・奥まつりが正しくできる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。クラスルームGFPを活用し、奥まつりの方法を確認する。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 創造力
11	・衿ぐりの始末を学修する。 ・ステッチのかけ方を学修する。	講義・実習 提出した計画表に記述で返答し、フィードバックを行う。衿ぐりの始末を行う。アイロン、ステッチのチェックを受ける。	・衿ぐりの始末ができる。 ・ステッチをかけることができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 創造力
12	・袖の縫製方法を学修する。 ・袖山、袖口のギャザーの寄せ方を学修する。 ・カフスの縫製方法を学修する。 ・カフスの付け方を学修する。	講義・実習 提出した計画表に記述で返答し、フィードバックを行う。袖を製作する。袖のチェックを受ける。	・袖を縫製することができる。 ・袖山、袖口にギャザーミシンをかけることができる。 ・カフスを縫製することができる。 ・袖口にカフスを付けることができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 創造力
13	・袖の付け方について学修する。 ・袖ぐりのロックミシンのかけ方を学修する。	講義・実習 提出した計画表に記述で返答し、フィードバックを行う。袖付けを行う。	・袖の付け方について理解し、身頃に袖を付けることができる。 ・袖ぐりにロックミシンをかけることができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 創造力
14	・ホックの付け方を学修する。(オンデマンド) ・これまで獲得した洋裁の知識を活用し、ワンピースに創意工夫をする。 ・自由作品を製作する。 ・仕上げアイロンのかけ方を学修する。 ・仕上げのポイントを学修する。	講義・実習・ICT活用 GFPを活用し、スプリングホックの付け方を解説する。データで提出された課題にメールで返答し、フィードバックを行う。パソコンを使用し、クラスルームGFPを参照する。繰り返し動画を視聴しスプリングホックの付け方を確認する。ワンピースに創意工夫する。	・糸の始末をし、仕上げアイロンがかかっている。 ・完成しており、着装して評価を得ることができる。 ・制作記録がすべて記入されている。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。クラスルームGFPを活用し、スプリングホックの付け方を確認する。ワンピースのディテールに施すデザインの考案、副資材の準備をする。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 創造力
15	課題発表会 ・製作した作品において創造力を発揮した点を発表する。 ・他者の作品を鑑賞しレポートにまとめ提出する。	プレゼンテーション 提出された作品・レポートに返答し、フィードバックを行う。	・製作した作品を発表することができる。他者の作品を評価し今後の参考にすることができる。	(予習) 発表の準備を行う。 (復習) 製作記録をまとめる。	90	課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力